

「AI 倫理ポリシー」

KOBELCO グループは、AI の安全かつ安心な利活用を推進するため、AI システム（AI を搭載する製品・AI を利用するサービスを含む）の開発・提供・利用（以下、AI の利活用と言います）において、以下の倫理ポリシーに基づき取り組みを進めます。

① ステークホルダー*に及ぶ不利益を抑える AI の利活用

KOBELCO グループは、AI を人間の判断を助ける道具として用い、AI の利活用に際しては、ステークホルダーに対するバイアス等の回避に努めるとともに、プライバシーの確保に努めます。KOBELCO グループは、AI の利活用を通じて社会の持続的発展を支え、事業活動の進化と人の可能性を最大化させることに努めます。

② セキュリティ確保

KOBELCO グループは、AI の利活用において適切なデータ流通や不正アクセスからの保護等のセキュリティ対策に継続的に取り組みます。

③ 安全性

KOBELCO グループは、AI システムの開発・提供にあたり AI システムの利用者の生命・身体・財産等の安全性に配慮した製品設計を行います。KOBELCO グループは、AI システムの利用に関して、本来の目的を逸脱した利用を防止することに努めます。

④ 透明性と説明責任

KOBELCO グループは、AI システムの開発・提供にあたり、AI システムの判断にかかわる検証可能性を確保できるよう設計を行い、AI システムの利用者に対する説明責任を果たせるように努めます。

KOBELCO グループは、AI システムの利用に関して、適正な利用を説明できる体制構築に努めます。

※ステークホルダーとは、直接的なものであるか間接的なものであるかを問わず、AI システムに関与するか、又は AI システムから影響を受ける組織及び個人の全てが含まれます（OECD 人工知能に関する理事会勧告での定義と同じく広義の意味）。

2025 年 9 月

株式会社神戸製鋼所

代表取締役社長 勝川 四志彦